

2020年8月17日

かがみのちよう
岡山県鏡野町の進める「企業と協働の森づくり事業」に参画
「YKK AP 檜の森」整備事業への支援開始
森づくり事業を通して建築業界の持続可能な事業発展に貢献

YKK AP株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、岡山県が進める「企業と協働の森づくり事業」（企業の森）に参画し、2020年8月1日から5年間の期間にて、岡山県鏡野町との「YKK AP 檜の森」として協定を結び、森林整備事業への支援を開始しました。

2020年8月17日に、YKK AP株式会社 中国支社支社長の瀬戸伸介が鏡野町役場に訪問し、7月31日に締結された協定書を基に、今後の森林整備事業への取り組みと連携を確認しました。



協定書を基に取り組みと連携を確認【2020年8月17日】
（左）YKK AP中国支社 支社長 瀬戸伸介 （右）鏡野町 山崎親男 町長

この度、YKK APは同県鏡野町にて、ヒノキやスギを植栽し、育てる本事業の森林整備に要する費用の支援を開始いたしました。

当社が支援する候補地は、広さ1ヘクタールで、約3,000本の木を植栽することができます。まずは2025年までの5年間、森林の整備を進めていきます。

本事業を通して、成長した国産の樹木を伐採し、新たな植栽をし、育てるというサイクルを持続し、地場産材等の国産材の積極的な活用を促進することで、木材の自給率の向上に寄与し、海外からの木材輸送に伴うCO2排出量の低減、地球温暖化防止に向けて協力します。



<植栽予定地（上空より撮影）>



<植栽予定地の様子>

YKK APは、国内の森林の持続的な発展に寄与し、建築業界の持続可能な事業発展に貢献します。また、環境への配慮も断熱性能にも優れた「木」素材に着目し、将来的に活用することについても検討を始め、サステナブルな商品やサービスの研究・開発・製造・提供を通して、持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

《参考》 企業の森について

「企業の森」とは、各都道府県と企業が連携・協働し、CSR（企業の社会的責任）や社会・環境貢献活動、また地域との交流活動の一環として、森林環境保全に様々なかたちで取り組む事業の総称のことです。岡山県では「企業と協働の森づくり事業」として、累計26企業・団体が活動および支援をしています。

【整備事業計画の概要】

名 称	「YKK AP 檜の森」
所在地	岡山県苫田郡鏡野町奥津
面 積	1.0ha（植栽本数：ヒノキ・スギ 3,000本植栽）
樹 種	少花粉ヒノキ ※土壌の状態ではヒノキが植栽できない場合は一部、少花粉スギを植栽
期 間	2020年8月1日～2025年7月31日（5年間）
整備内容	初年度：伐倒・地拵え（じごしらえ）・防護柵設置・植栽・防護柵点検 2年目以降：防護柵点検・下刈